

【特集】地域懇談会の実施状況

「今後10年間で重点的に取り組むこと」をテーマに開催している地域懇談会において、地域の皆さんとの活発な意見交換が行われました。

今回いただいた貴重な意見や要望を踏まえながら、今後のまちづくりを生かし、チーム平泉が一丸となり活気あふれるまちとなるよう町政運営に取り組んでまいります。

各行政区から寄せられた主な質問や意見について今月号と来月号の2号に分けて紹介します。

寄せられた 主な質問や意見など

■1区(5月21日)

Q 公民館と図書館の敷地の大きさ、駐車場の規模はどのくらいか。

A 敷地面積は5000平米ほど、駐車場は70台を見込んでいます。高齢化社会の中でもみんなが集える場所にしていきたい。

Q 公共交通について、前沢イオン行きの県交通バスがあるが、下り線の瀬原停留所の場所が離れている。見通しも悪く危険なのでバス停を移動し

てもらえないか。上り線の向かい側(県道側)に場所の移動を希望する。

A バス路線の見直しを検討している。この機会に併せて考えたい。乗車状況なども調査することになると思う。バス事業者との会議が7月にあるので今回の検討項目に入れない。

Q 10年後の人口はどれくらいになるか。今は生まれてくる子どもがなかなかいない。

A 人口減少の比率は一関市に比べるとまだ緩やかではあるが、10年後には6900人ほどになる予定。移住定住策で都心部からの人口の奪い合いとなっているが、全体人口が増えているので厳しい状況にある。

増えているので厳しい状況にある。

■2区(5月22日)

Q 社会教育施設について、よく理解しないままに話が進んでいる。町民は理解不足ではないか。

A 建設が令和4年度までずれ込む可能性はゼロではないが、そうならないように精いっぱい努力する。中学校建設は従来方式で分かりやすかったが、今回は分かりにくい。不安の声があるのも事実なので、情報発信に努め今後とも皆さまにお知らせしながら進めていきたい。

Q 県への要望に中尊寺交差点



1区地域懇談会

の無電柱化があったと思うが、進んでいない。現状はどうなっているのか。

A 東北電力では電線地中化計画を5年間隔で作っている。県では中尊寺通りが遅れているので、来年度完成と言っている。中尊寺交差点はその次の段階でと考えているようだ。衣関線も県と同調して整備していきたい。

■3区(5月24日)

Q 社会教育施設建築後、図書館を取り壊すと思うが、跡地はどうするの。

A 図書館跡地利用については、役場の内部で検討中。図書館については、耐震という点から長期の使用は耐えられないと考え、建物自体は取り壊していく方向である。

Q 戸河内方面の患者送迎バスは大変助かっている。買い物などもしたいので、経路を乗王堂やジョイスまで伸ばしていただけないか。

A 今回の公共交通見直しの際に考えていきたい。

Q 大型事業が続きそうだが予算は大丈夫か。役場に行くとお金が無いとすぐ言われる。

A 財政計画の中、年度単位で予算を確保しながら行っている。

る。余裕のある財政状況ではないが、やりくりはできている。今後も予算を確保しながら実施していきたい。

■4区(5月28日)

Q イノシシのグループが4ついる。その中には体の大きな個体のグループなどもある。許可があれば鉄砲で撃つこともできる。

A 狩猟をできる人が増えていかなければならないが、予算も増やし、わなも増やした。狩猟免許を取得する際の送迎も農林振興課で実施している。ぜひみんなで駆除をお願いしたい。

Q 上水道は民間への移管の計画はないか。また、この地域の配管の老朽化はどのような状況か。

A 町では水道事業の民間移管は考えていないし、受けることもないと思われる。鉛管については、健康被害も想定されることから順次配管の布設替えを行っている。建設水道課で10年間の計画を進めている。この地域も対象となっている。

Q 社会教育施設の建設、設計は業者への委託なのか。民間委託をすると費用がかかるの

1カ所の出入口を造らなければならぬこと。

■5区(5月29日)

Q 超高齢化時代なので福祉サービス向上をお願いしたい。

A 高齢化社会の中で総合計画に占める高齢者福祉の施策はとて大切である。町社会福祉協議会の福祉有償運送を知らない人もいますのでPRをしていきたい。

■6区(5月31日)

Q 防災マップの地すべり地帯に、6区公民館が含まれている。災害時にどこに避難すればいいか。

A もし新たに公民館を建てる場合は、ここではない場所をお願いしたい。地すべり、災害が予測される場合は、平泉小体育館などを避難所に指定する。

Q 照井堰の工事についてだが、業者によって高さが違う。仕上がりになっており、境界がはっきり分かるくらいひどい。地域の意見が全く反映されていない。

A 現地を確認して、県や照井土地改良区にも話したい。

■7区(6月17日)

Q 企業による黄金沢の太陽光発電の件はどうなっているのか。

A 企業側から町に何回か相談があったが、申請書類などがまだそろっていない状況。また計画している土地も農振除外や農地水の対象地などにかかっている場所であり、担当課からは見直しが難しいと言われている。なお、町では町有地は貸せないと企業側に話している。

と、町でも安心して子育てができる環境にしていきたいと考えている。待機児童ゼロを目指し、喫緊の課題として取り組んでいく。

Q 町内には空き家はどのくらいあるのか。空き家の利活用は考えているか。

A 数年前の空き家調査では150件以上空き家があったが、売りたい、貸したいという所有者は一桁程度だった。町では空き家バンクを設置している。空き家があればぜひ登録をお願いしたい。



10区地域懇談会